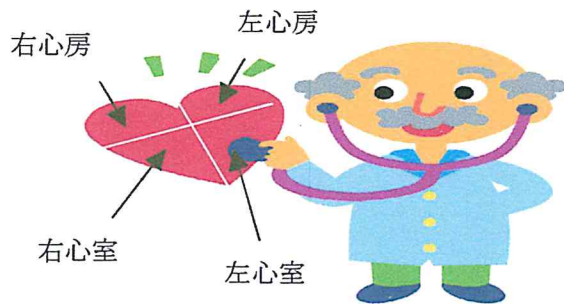


不整脈2(心室頻拍・心室細動)



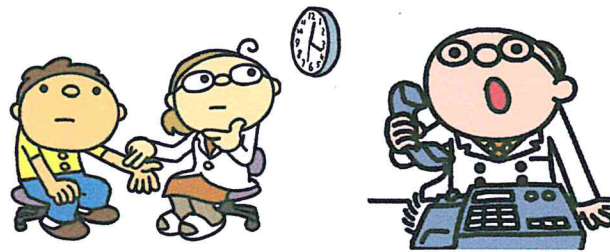
危険な不整脈のひとつとして「**心室頻拍**」(しんしつひんぱく)と「**心室細動**」があります。突然死の原因として、また年齢に関係なく起こる不整脈として要注意！

<心室頻拍>

心室に異常な電気刺激が発生し、心室の筋肉が速いリズムで収縮を繰り返します(血液が全身に回らなくなる事を意味します)。1分間に**120~250拍**になることがあります。心拍数が速いと**血圧が下がり、動悸、失神、ショック状態**に陥る事があり、数分以上続く場合は、悪性度の高い心室細動に移行することがありますので注意しなければなりません。



心室頻拍は不整脈が30秒以上続くものを「**持続性頻拍**」 30秒以下を「**非持続性頻拍**」と呼んでいます。



<心室細動>

最も危険な不整脈です。(心室に異常な電気刺激が発生し、筋肉が震えるだけで収縮できなくなる) 大部分は心筋梗塞や心筋症などの心臓病によって起こります。心室細動は、心臓が血液を送り出す機能を失い、心停止状態となったものです。速やかに人工呼吸やAED(自動体外式除細動器)などの救急処置を実施する必要があります。(6秒で失神、3分で脳死状態)



<心室細動が原因と思われる突然死のデーター>

- ★ 40~50代の男性に多い。
- ★ 春先(4月頃)、土曜・日曜週末に起こりやすい。
- ★ 深夜睡眠中(午前0時~3時)、自宅で倒れることが多いというデーターが出ています。(睡眠中、入浴中、用便中) 其の他勤務中の突然死。
- ★ 急激な運動もその要因となりますのでストレスや寝不足の時は特に準備運動などを十分に心がけてください。

◆不整脈の基礎疾患(治療が必要な疾患)

狭心症、心筋梗塞、弁膜症、心筋症、高血圧症
甲状腺ホルモン異常を生じる病気など。

(上記の疾患などは**危険な不整脈に移行しやすい**のでご注意ください。)



<不整脈の治療方法は?>

不整脈の種類、障害の場所、重症度によってそれぞれの治療方法が実施されます。

1. 生活習慣の改善

精神的、肉体的ストレスを貯めない。

過労、運動不足、太り過ぎは気をつけましょう。

脂肪分、コレステロールの多い食事は少なめに。

過度の飲酒、喫煙は控えましょう。

2. 抗不整脈薬の内服



3. 外科的治療(大学病院や専門病院で実施)

○ペースメーカー植え込み術

胸の皮膚の下にペースメーカーという小さな機器を埋め込み電氣的収縮命令を出して心臓を収縮させる治療です。(生命的危機のある人に行う)

○カテーテルアブレーション

細い管を足の付け根の静脈から心臓内に挿入し、電氣的に刺激伝導系を焼却する治療です。

○刺激伝導系切断術

心臓を開いて、不整脈を起こす刺激伝導系を切断する手術です。